

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	16	課題区分	C	2025年3月26日	
横断的な課題	木曾らしさを活かした観光振興					木曾地域振興局	
地域重点政策	木曾らしさを活かした観光振興					木曾地域振興局	
実施機関	木曾地域振興局			担当課	所属	木曾地域振興局 企画振興課	
事業名	木曾地域リニア活用推進事業				電話	0264-25-2212	
				E-mail	kisochoi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業	目的 (目指す姿)	リニア中央新幹線の整備、開業等を木曾地域全体の地域振興につなげ発展に資するため、観光・交流・交通・暮らし方・働き方などの研究・検討を進める。そして、地域経済を活気づけ、盛り立てて、活力溢れる木曾地域になることで、観光客を増やし、持続可能な観光地域づくりを推進することを目的とする。					
	現状と課題	<p>1現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長野県としては、リニア中央新幹線長野県駅(飯田市)ができる予定である南信州、上伊那地域を中心に伊那谷全体の発展に資することを目的に新たなまちづくり、産業振興等の広域的な地域振興に繋げるための、「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」を開催し、検討を重ねているところである。しかし木曾地域においては、伊那谷からの観光客の周遊が多少認められるものの、その効果がなかなか波及していないのが現状としてある。</li> </ul> <p>2課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>そこで、木曾地域では、リニア中央新幹線開業に向け、長野県駅(飯田市)だけでなく、岐阜県駅(中津川市)へのアクセスの良さを強みとし、地域の特性を活かした県境を跨ぐ観光地域づくりを研究していくことが必要である。</li> </ul>					
概要	内容 (変更後の内容)	<p>◆木曾地域リニア活用推進協議会設立準備会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎日時: 令和7年1月24日(金)午前10時30分から</li> <li>◎場所: 木曾合同庁舎 講堂</li> <li>◎出席者: 上記構成員の予定</li> <li>◎内容: (1) 協議会の設置について (2) リニア中央新幹線について (3) 今後の予定について</li> </ul> <p>◆木曾地域リニア活用推進協議会(仮称)を設置予定(令和7年3月上旬設置予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎研究・検討課題(優先度の高い順)</li> <li>1【観光・交流】日本遺産を活かした観光地域づくり(R7~) <ul style="list-style-type: none"> <li>・木曾地域を拠点とした広域観光を担う組織と共同した観光地域づくり</li> <li>・木曾路のブランディングとプロモーション</li> </ul> </li> <li>2【交通ネットワーク】リニア中央新幹線岐阜県駅を起点とする広域的な交通体系の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒木曾地域公共交通活性化協議会で検討中※成果を協議会で共有・ブラッシュアップ</li> </ul> </li> <li>3【生活交流・しごと】リニア時代の暮らし方・働き方(観光・交流及び交通の状況を見ながら対応) <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォレストバレーの形成、森林資源を活かした学校教育</li> <li>・林業の担い手育成、都市部の大学との連携</li> </ul> </li> </ul> <p>◎協議会における当面の研究・検討テーマ</p> <p>リニア中央新幹線岐阜県駅・長野県駅を活用した観光地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①木曾地域を拠点とした、日本遺産を活かした広域観光(主に外国人旅行者向け)</li> <li>②森林資源を活かした体験メニューのブラッシュアップ(主に都市部のこども・若者向け)</li> </ul> <p>◎構成員(全体会)</p> <p>県: 知事、県議会議員、木曾地域振興局長、木曾保健福祉事務所長、木曾建設事務所長</p> <p>国: 木曾森林管理署</p> <p>町村: 町村長、議長、広域連合長</p> <p>民間: 商工連木曾支部、商工会、観光連盟、観光協会、DMO、交通事業者、JA、森林組合</p> <p>オブザーバー: 木曾警察署、広域連合事務局、中津川市、町村教育委員会、県立学校(高校、技専、林大)、県立木曾病院</p> <p>⇒テーマごとに構成員からメンバーを選定し、その結果を全体会(年1回)で報告</p>					
		事業期間	令和7年1月		～	令和7年3月	
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	木曾地域リニア活用推進協議会設立準備会の開催	構成員への謝礼		99,225	(準備会)@3,150円×12名=37,800円 (協議会)@3,150円×1.5時間×13名=61,425円		
		構成員への費用弁償		22,242	(準備会)12名支払い 11,283円 (協議会)13名支払い 10,959円		
		通知、資料等郵送料		8,262	通信費2回分 8,262円		
		資料作成用消耗品等		12,000	ラベルシール2,500円、封筒3,500円、トナー6,000円		
職員旅費			44,660	中津川4,500円×2人、恵那5,500円×2人 塩尻3,000円×2人、長野6,220円×3人			
合計			186,389				
指標状況及び達成	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	木曾地域リニア活用推進協議会参加者数		20人以上	46人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 達成</li> <li>○ 一部達成</li> <li>○ 未達成</li> </ul>		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年1月24日(金)木曾地域リニア活用推進協議会設立準備会議を開催。構成員、オブザーバー計37名の出席をいただき、意見交換を実施。</li> <li>・令和7年3月3日(月)第1回木曾地域リニア活用推進協議会を開催。顧問である阿部知事からも挨拶をいただいた。構成員、オブザーバー計46名の出席を得て、「木曾地域リニア活用推進協議会」が設立された。</li> </ul>						
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曾地域リニア活用推進協議会を推進していく。</li> <li>・R7に観光交流部会で検討を開始する。新年度に部会に参加するメンバーを決定し部会を開催したい。観光・交流の分野から検討を進めていく予定。</li> </ul>						